

日青協ニュース

NISSEIKYO NEWS

一般社団法人
日本青果物輸入安全推進協会

東京都千代田区神田和泉町1丁目 12-16

末広ビル

電話 03(5833)5141

No.811

平成 26 年 10 月 5 日

印刷所 ニチエイブプリント

輸入果物セミナー / 日青協

9月29日(月)13:40より南青山会館にて輸入果物セミナーを開催した。今年のセミナーは昨今の食品にまつわる複数の不祥事に鑑み、「危機管理」をテーマにしたいと考え、お二方を講師にお招きして講演をお願いした。



1講座目の講師は東京都の食品監視課、輸入食品・有害食品担当の丸山様に「輸入生果物における違反・苦情及びその対応について」と題して行政における違反・苦情事案の対応手順、苦情の実例、事故発生に備えた取り組みなど講演頂いた。

クレーム情報は会社内で一元管理し、組織で共有するように、また事故情報に対する分析・検討にあたっては予断を持たない・複数の目で判断・緊張感を保つといったことに留意するようアドバイスがあった。日青協が昨年10月に作成した「輸入青果物安全管理行動規範」は危機管理マニュアルとして良く出来ているので参考にしてはどうかとのお話もあった。



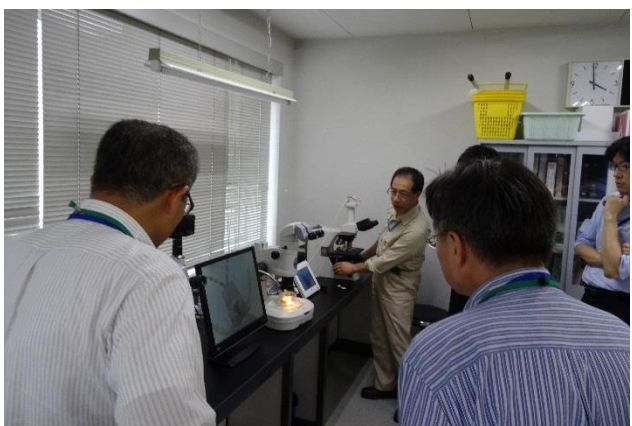
2講座目は、「食品防御(フードディフェンス)の現状と対策」と題して、本件に関する第一人者と称されている奈良県立医科大学の今村教授に講演頂いた。内容は、食品防御に関する潮流、各国の対策状況・国内での食品防御の必要性、アクリフーズ農薬混入事件などについて講演頂いた。

検査などで対応することが比較的容易なFood Safety(食品安全)に対して、Food Defense(食品防御)は、悪意を持って予想外の攻撃を仕掛けてくるため予測・対応が難しいというお話や、事件は起こる—それは人が恨みを持つ動物であるためである—とのお話は印象的だった。詳細は「菜果フォーラム」次号Vol. 18に掲載の予定です。

実地見学（大阪港湾合同庁舎）の実施 / 日青協



平成26年9月30日に大阪港湾合同庁舎内の大阪税関、大阪検疫所及び神戸植物防疫所大阪支所において実地見学を実施した。当日は会員各社から17名が参加して、各機関の担当者から生果実の輸入に関係の深い各制度の説明を受けたあと実物展示などの見学を実施した。参加者は熱心に担当者の説明を聞くとともに、展示物等に関する質問が行われた。



催事予定

農産物の輸出拡大戦略とこれを支える最新輸送技術

主催：農業食料工学会食料・食品工学部会

開催日：2014年11月14日(金)13:15～16:45

会場：南青山会館3・4号会議室

http://fe-section.j-sam.org/#ttl01_03

ジャパンフードフェスタ2014

主催：農林水産省

日程：平成26年11月1日(土曜日)～11月2日(日曜日)

場所：東京・丸の内仲通り等

<http://www.foodfestival.jp/>

食品に関するリスクコミュニケーション / 消費者庁

9月16日霞ヶ関中央合同庁舎にて、農水省・内閣府食品安全委員会・消費者庁・厚労省・環境省合同で「食品に関するリスクコミュニケーションー知ろう、考えよう、農薬のこと」と題してシンポジウムを開催した。

概要は、農薬の必要性、農薬の残留基準、リスクに関する報道の問題点、消費者・消費者団体の農薬に関するリスク認識などについて講演及びパネルディスカッションが行なわれた。

農薬は良質で安全な食料を将来にわたって消費者に安定的に供給していくためには必要だが、国としてはCODEXやOECDと国内制度の調和をはかり且つ農薬登録の審査の透明性を上げようと考えている。一方消費者は農薬を単に危険と思い込んでおり、正しい知識の啓発に努める必要がある。また、報道する側も専門知識を身につけ正しい報道に努める必要があることなどが議論された。

詳しくは消費者庁ホームページでご確認ください。

http://www.caa.go.jp/jisin/r_commu/140916_kaisaigaiyou.html

第18回千葉県学校保健学会の開催 / 日青協

日青協の運営するホームページに掲載の「果物と栄養教育」を執筆していただいている渡辺智子教授(千葉県立保健医療大学)から開催及び展示等の案内があった。このため、日青協としては以下の広報を実施することとしている。

1 展示ブースでの広報

日青協の広報関係資料の展示、配布(菜果フォーラム、ニュース、冊子等)

2 講演要旨集への日青協の広告掲載(講演集A4 80ページ300部)

なお、会員各社が広告掲載等を行う場合は直接申し込み願います。<http://chiba-sh.org/sponsor>
展示ブース:1. 8Mの机が1区画、料金1万2千円、広告掲載:1ページ分1万2千円、1/2分6千円。申し込み、広告原稿送付及び送金締め切り日平成26年10月11日(土)(申し込み受付9月15日(月)～)

【参考】

第18回千葉県学校保健学会の開催概要(詳細は <http://chiba-sh.org/18th>)

日時:平成26年12月7日(日)8時30分より受付開始

場所:千葉県立保健医療大学(実行委員長:渡辺智子教授):千葉市美浜区

内容: (1) 千葉県学校保健学会理事・評議員会

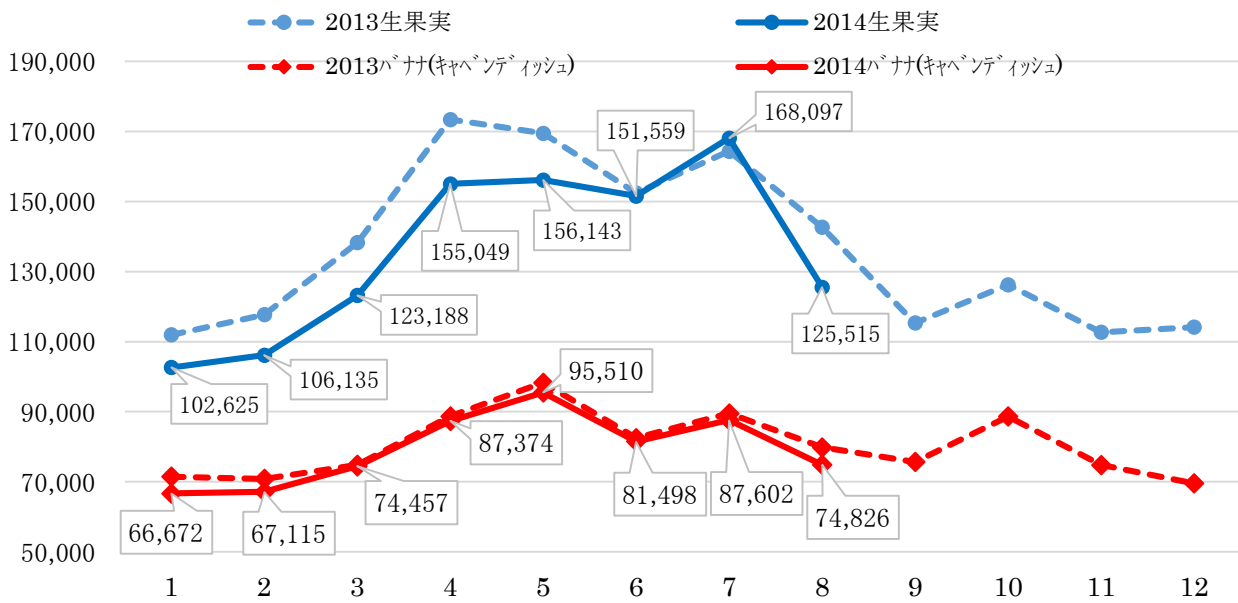
(2) 大会長講演・特別講演

(3) シンポジウム(市民公開講座)テーマ「伝えよう!私たちのすばらしい身体と心」

(4) 一般講演・ポスター発表・ワークショップ

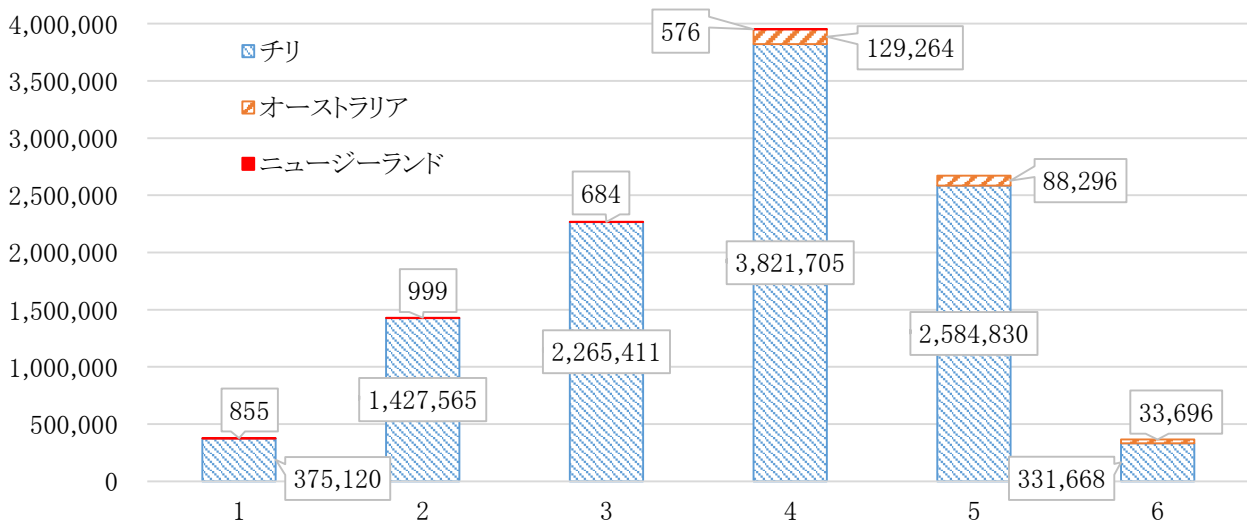
果物とバナナの月別輸入量 / 日青協

植物検疫統計 単位t



南半球からのブドウの輸入 2014年 / 日青協

植物検疫統計 単位kg



《行事報告》

- 9/4 食品の新たな機能性表示制度に係る食品表示基準案についての説明会(中西部長出席)
- 9/9 公認会計士指導 / 事務局職員会議
- 9/11 食品安全委員会 農薬専門調査会幹事会(中西部長傍聴)
- 9/16 食品に関するリスクコミュニケーション(太田事務局長出席)
- 9/18 第5回広報・食品衛生・植物防疫3部会開催
- 9/19 全国植物検疫協会打ち合わせ(荻野理事出席)
- 9/25 植物検疫4団体連絡会(荻野理事出席)
- 9/29 輸入果物セミナー開催
- 9/30 協会監事監査 / 会員研修会(大阪I) / 食品安全委員会(中西部長傍聴)